

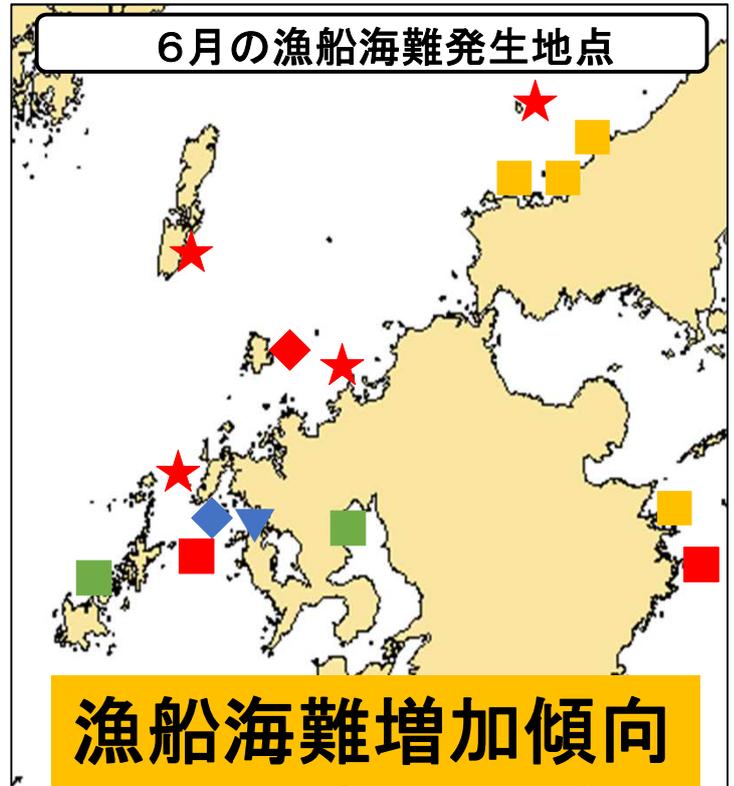
漁船海難月報 令和2年7月号

第七管区海上保安本部
交通部安全対策課発行

令和2年6月
七管内漁船海難 計15隻

令和2年6月漁船海難発生件数15隻(前年8隻)
6月漁船海難発生件数は前年に比べ7隻増加

漁船海難隻数 (速報値)		県別内訳	
		6月	令和2年累計
衝突	★ 4	山口県 4	6 (4)
乗揚	■ 4	福岡県 2	11 (10)
運航不能 (機関故障)	■ 2	佐賀県 0	3 (6)
運航不能 (推進機・舵故障)	■ 2	長崎県 7	18 (25)
運航不能 (無人漂流)	◆ 1	大分県 2	8 (7)
運航不能 (有人漂流)	◆ 1	合計 15隻	46隻 (52隻) ()は昨年同月
転覆	▼ 1		
合計 15隻 (前年 8隻) 死亡、行方不明者: 1件		県別内訳表は、各県に所在する海上保安部署の担当海域にて発生した海難の合計数を示しています。数値は速報値です。	



令和2年7月1日現在、累計死亡・行方不明者数: 9名



浸水状態でえい航されるA丸

<事故事例(運航不能・推進器障害)>

漁船A丸は、折からの風浪の中、刺し網を揚網していたところ、突風と高波で船尾が風下に流され、刺し網が船外機プロペラに絡網し、航行不能となりました。

その後、刺し網の重みで船尾が沈み、波が打ち込んだ結果、船内に海水が侵入する状態となりました。

注目・気象の変化に注意し、最新の気象・海象を確認!

最新の気象・海象情報を確認し、悪化が予想される時には、出港を取り止めましょう。

また、出港後は、風、波、雲の変化に注意し、悪化が予想される時には、早期帰港の決断をしましょう。



6月は操業中の負傷事故・死亡事故多数発生！

6月は、操業中、帰港中に5名の方の負傷事故等(うち2名は死亡・行方不明)が発生し、例年に比べて多発しています。

操業中に漁網巻取りローラー等に手や足を挟まれ負傷 3名
海中転落事故(1名は推測) 2名

【死亡事故事例(海中転落[救命胴衣未着用])】

夫婦で漁を終え帰港中、「用を足す」と告げて船尾に行った事故者が戻ってこないため、不審に思った妻が船尾を見に行ったところ、海中に転落している事故者を発見。

付近にいた船舶乗組員により海中にうつ伏せ状態となった事故者を救助しましたが、その後、搬送先の病院において、死亡が確認されました。

事故者は出漁中は救命胴衣を着用していましたが、用を足すのに邪魔になる雨衣を脱ぐために、救命胴衣を外してしまったものです。



漁船の安全運航・安全操業の願い

- ◎ 常時適切な見張りの徹底
- ◎ 作業時の安全管理の徹底
- ◎ 気象・海象情報の入手活用
- ◎ 自己救命策確保の推進
 - ・ 無線・携帯電話による**定時連絡**
 - ・ 海中転落に備え、**救命胴衣の常時着用**
 - ・ 船上に上がるための**ハシゴやロープの設置**
 - ・ 単独操業を避け、**2隻以上での集団操業推進**



海の事故ゼロキャンペーン(期間:7月16日～7月31日)

海の安全情報 スマートフォン用サイト



緊急情報配信サービス

